

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	2	道路整備		
				都市整備部	谷本 浩司

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- 事業期間の長期化が顕著になっていることから、必要な財源の確保と事業効果に配慮した整備区間の選定が課題になっています。
- 市民生活に密着した生活道路の整備については、より効率的な整備を進める観点から、抜本的な整備に加え、既存道路用地の有効活用による局部改良や、柔軟な整備手法を織り交ぜていく必要があります。

2. 施策の基本方針

Plan

- 今後の人口減少や高齢化の進展など、多様化する道路交通需要に的確に対応するため、ユニバーサルデザインを基本とした計画など、道路空間の質の向上を進めます。
- 幹線道路のネットワーク化による代替機能の向上と広域道路網の整備を進めます。
- 地域のまちづくりの取組と連携した維持管理や事業の選定を進めるとともに、事業効果の検証を行いながら生活道路の整備を進めます。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan Do

施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合(%)	目標	-	-	-	50.0	
	成果	42.1	49.0	41.8	48.1	75.9%
計画済6路線のうち整備を完了した道路の供用率(%)	目標	-	-	-	97.0	
	成果	17.0	22.9	26.7	26.7	12.1%
地域づくり組織等が主体となって、道路等の維持管理に携わっている箇所数(件)	目標	-	-	-	60	
	成果	57	62	66	64	100.0%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度~30年度)

Plan Do

三重県に対し、継続して事業の推進を要望しており、国道368号については、上長瀬工区の拡幅事業及び伊賀名張工区の4車線化事業について、引き続き事業を実施しています。
社会資本整備総合交付金等においては要望活動等により、道路財特法による嵩上げ措置が継続されることになり道路整備事業を推進を図ることができました。また現在計画にある道路整備路線の優先順位の見直し等を行い、長期化していた路線の整備完了や、通学路合同点検での要望箇所において積極的に事業着手し、一部路線を完了するなど供用開始を迎えたことで限られた予算で最大の効果を得ることができました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

道路整備等については、社会資本整備総合交付金を柱とした取り組みを行っていますが、予算確保が困難な状況が続く中で、事業効果に配慮した整備区間の選定及び整備手法の更なる検討が必要です。
特に交通安全プログラム等における通学路の整備に重点をおき、防災・安全交付金を活用し早期の整備完了に向け、引き続き取り組む必要があります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

限られた予算の中で最大の効果が得られるよう、事業の優先度や整備手法等を検討します。
交通安全プログラム等における通学路の整備要望箇所を重点整備路線に位置づけ、安心安全な道路整備を進めます。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

市内主要道路の整備について、引き続き、三重県に対し早期完成に向け要望するとともに、事業の優先度の高いものから順次整備を進めるなど限られた財源を最大限有効に活用すること。